202511KeMCo sent

View report

Campaign Preview HTML Source Plain-Text Email Details

View this email in your browser

KeMCo

撮影：村松桂(株式会社カロワークス)

展覧会「慶應義塾ミュージアム・コモンズ×飯沼観音圓福寺　嵯峨本の誘惑：豪華活字本にみた夢」は好評開催中です。
展示室中央のケースには、嵯峨本を代表する存在ともいわれる『伊勢物語』がずらりと並んでいます。どれも同じ伊勢物語の古活字版に見えますが、違う版はもちろん、同じ版でもページを一度刷るごとに活字や単語を少しだけ入れ替えた「部分異植字」による違いがあります。じっくり観察して、違いを探してみてください。
これだけの数と種類の伊勢物語を見比べられるのは、飯沼観音圓福寺のコレクション、そして本展覧会だけです。見逃せない土曜特別開館は11月15日（土）。ぜひお越しください。

【開催中～11/28】慶應義塾ミュージアム・コモンズ×飯沼観音圓福寺
嵯峨本の誘惑：豪華活字本にみた夢

角倉素庵による書状や、本阿弥光悦筆と目される古歌巻も紹介しています
撮影：村松桂(株式会社カロワークス)

まぼろしの豪華活字本の実像に迫る展覧会

日本の書物史に燦然と輝く美麗活字版本「嵯峨本」の、世界有数の貴重なコレクションが慶應義塾ミュージアム・コモンズ（KeMCo）にて“揃い踏み”！展示室を埋め尽くすように並ぶ嵯峨本の数々は、まさに圧巻です。膨大な時間と高度な技術を惜しみなく注いで作られた、豪華絢爛な嵯峨本の世界をぜひご堪能ください。

慶應義塾ミュージアム・コモンズ×飯沼観音圓福寺
嵯峨本の誘惑：豪華活字本にみた夢
会期｜2025年 9月30日（火）－**11月28日（金）**
特別開館｜ 11月15日（土）
臨時休館｜ 11月17日（月）
会場｜慶應義塾ミュージアム・コモンズ展示室（三田キャンパス東別館）
入場｜無料、予約不要

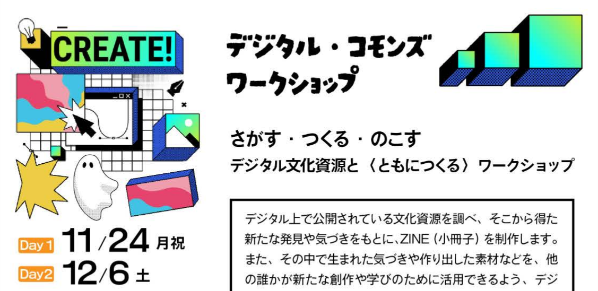
主催｜慶應義塾ミュージアム・コモンズ、飯沼観音圓福寺
協力｜慶應義塾大学附属研究所 斯道文庫、慶應義塾大学三田メディアセンター
共同企画｜佐々木孝浩（附属研究所斯道文庫 教授）
企画協力｜佐々木康之（文学部 准教授）

嵯峨本の誘惑：豪華活字本にみた夢

シンポジウム「飯沼観音圓福寺と嵯峨本」を開催しました

10月4日（土）に、展覧会関連シンポジウム「飯沼観音圓福寺と嵯峨本」を開催しました。
様々なテーマで嵯峨本に迫り、大盛況だったシンポジウムのもようは近日ウェブサイトにてアーカイヴ配信予定です。

【参加者募集】さがす・つくる・のこす：デジタル文化資源と〈ともにつくる〉ワークショップ

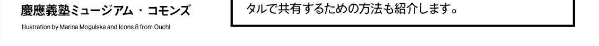


デジタル・コモンズ
ワークショップ

Day 1 11/24 月祝
Day2 12/6 土

さがす・つくる・のこす
デジタル文化資源と〈ともにつくる〉ワークショップ

デジタル上で公開されている文化資源を調べ、そこから得た新たな発見や気づきをもとに、ZINE（小冊子）を制作します。また、その中で生まれた気づきや作り出した素材などを、他の誰かが新たな創作や学びのために活用できるよう、デジ


慶應義塾ミュージアム・コモンズ
Illustration by Marina Mogulska and Icons 8 from Ouch!

タルで共有するための方法も紹介します。

ワークショップ「さがす・つくる・のこす： デジタル文化資源と〈ともにつくる〉ワークショップ」を開催します。開催にあたり、参加者を募集します。

デジタル上で公開されている文化資源を調べ、そこから得た新たな発見や気づきをもとに、自分たちの視点を重ねながらZINE（小冊子）を制作します。また、その中で生まれた気づきや作り出した素材などを、他の誰かが新たな創作や学びのために活用できるよう、デジタルで共有するための方法も紹介します。

ウェブサイトにて詳細をご確認の上、ぜひお申込みください。

さがす・つくる・のこす： デジタル文化資源と〈ともにつくる〉ワークショップ

Day1：2025年11月24日（月・祝）10:00–16:30
Day2：2025年12月6日（土）10:00–16:30

【応募〆切】 2025年11月13日（木） ※ 抽選の場合、17日（月）までに参加の可否をご連絡します

【対象】
・2日間のワークショップに参加できる方
・デジタル・アーカイヴ、文化資源の活用や共有に関心のある方
・オンライン上の資料や情報をもとに調べたり、考えたことをかたちにしてみたい方

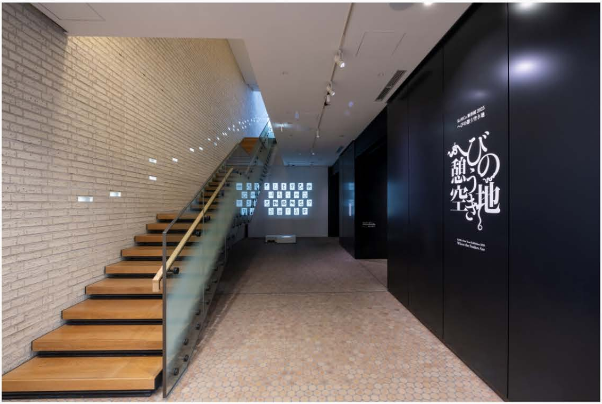
※年齢や所属は問いません。学生、社会人、地域の方など、どなたでもご応募いただけます。
※ワークショップではオンライン上での調べものやデジタルツールの使用を予定しています。参加の際はパソコンをご持参ください。
※ZINEづくりやアーカイヴ活用の経験がない方も歓迎します。

【定員】 16名程度（応募多数の場合は抽選）

【参加費】 無料

さがす・つくる・のこす： デジタル文化資源と〈ともにつくる〉ワークショップ

ご寄付のお願い



展覧会の中で一貫校とのコラボレーションを行い、
一貫校の生徒の学外での学びの場としても活用いただいています
撮影：村松桂(株式会社カロワークス)

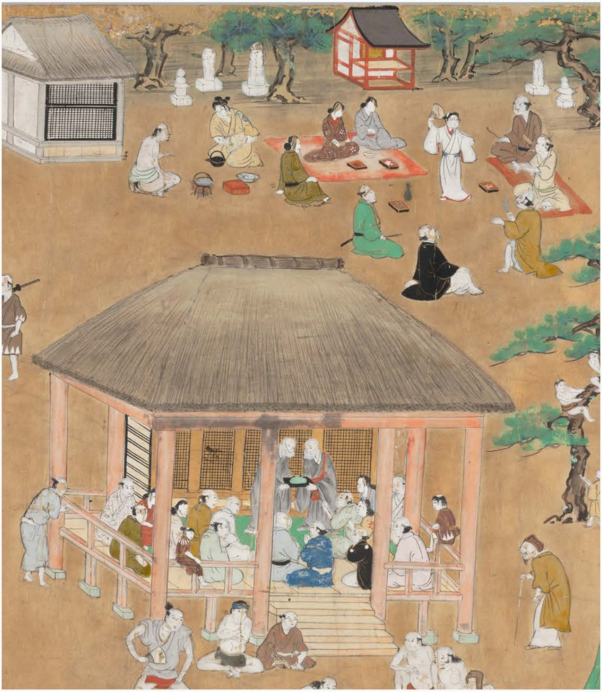
KeMCoでは大学の貴重な文化コレクションを公開する企画展覧会を年に4回開催しています。展覧会は、たくさんの方に何度でも作品を見ていただくために、すべて無料で公開しています。
一方で、物価高騰の中で、展覧会開催の経費は増大しています。
KeMCoでは、大学ミュージアムとして、誰もが文化にアクセスできる社会を支えるべく、みなさまのご支援を得て、現在のありかたを継続していきたいと考えています。
KeMCoの展覧会活動の継続のために、みなさまからの温かいご支援をいただきたく、どうぞよろしくお願い申し上げます。

詳細とご寄付の方法は以下ウェブページをご覧ください。
皆様からの温かいご支援をどうぞよろしくお願い申し上げます。

ご寄付のお願い

展示室より、推しモノ #42

Feedback



狩野友仁正成筆「飯沼山観世音縁起絵巻」（部分図）、明暦2年（1656）

11月に入り、KeMCoで開催中の展覧会「嵯峨本の誘惑：豪華活字本にみた夢」は、いよいよ後半に入りました。嵯峨本についての詳しい解説は、展示室で無料配布中の展覧会カタログに譲るとして、ここでは絵巻物「飯沼山観世音縁起絵巻」をご紹介したいと思います。

本絵巻は、飯沼観音圓福寺の縁起を伝える作品です。今回展示しているのは巻末の第五図で、圓福寺の境内において瑪瑙石のご開帳が行われている場面が描かれています。この瑪瑙石は、第三図において観音像とともに海中から引き揚げられたもので、第五図の中央では漆盆の上にうやうやしく載せられ、人びとが手を合わせて拝見しています（図版下部）。

境内では、参詣した人びとのほか、遊びに興じる庶民の姿も描かれています。たとえば、圓福寺の外に位置する弁天池では、六人の男たちが蹴鞠を楽しみ、周囲には桜の花が盛りを迎えています。さらに左へ視線を移すと、団扇で炭火をあおぎ餅を焼く男の姿があり、背後には酒瓶が並びます。さらにその左側では、舞を舞う人物を中心に人びとが車座になり、折敷の料理を囲んで宴を楽しんでいます（図版上部）。境内を抜けて浜辺に進むと、網干をする人びとや、小舟で沖へ向かおうとする漁師たちの姿も描かれ、銚子港近くに位置する圓福寺ならではの風景が広がっているのです。

このように本絵巻には、太平の世を謳歌する人びとの姿が生き生きと描かれています。展示室では、ぜひお気に入りの登場人物を探してみてください。

小松百華（KeMCo学芸員）

空き地

嵯峨本インスパイア　KeMCoM＋オリジナルブックカバー

開催中の「嵯峨本の誘惑：豪華活字本にみた夢」では、展覧会をより楽しんでいただくための仕掛けやミニ企画をたくさん用意しましたので、ご紹介します。

①豪商気分を味わえる！嵯峨本をキラキラさせてみよう
Room2にて体験いただけます。アンケートでも大人気の企画です。雲母刷の料紙が用いられた嵯峨本に、ご自身でペンライトで光を当てて美しい料紙装飾を楽しめる展示です。自分の手元で豪華な嵯峨本の輝きを楽しんでいただけます。
②嵯峨本インスパイア　KeMCoM＋オリジナルブックカバー
毎回大人気の、学生メンバー「KeMCoM＋」による企画。KeMCoM＋が嵯峨本の美しい料紙や装飾に着想を得て、オリジナルブックカバーをデザインしました。文庫・新書・単行本・学術書の4サイズで展開。日々の数量限定配布ですので、早い時間帯の来館をおすすめします。
③soanでつくるわたしの嵯峨本
古活字画像を用いて現代日本語テキストを描画するプログラム「そあん（soan）」が、近代文学の名文をその場で古活字画像で生成するデモンストレーションを体験いただけます。画像は印刷してお土産にお持ち帰りいただけます。

どれも全世代の方に簡単に体験いただけることに加えて、嵯峨本や古活字版への理解が深まります。展示と一緒にお楽しみください。

眞下菜穂（KeMCo）

お知らせ

三田キャンパスでご覧いただける展示

2025年度秋季企画展「北沢楽天と近代日本──福澤諭吉、MANGAの扉をひらく──」
10月16日（木）～12月13日（土）
会場：福澤諭吉記念 慶應義塾史展示館

SHOW-CASE PROJECT Extra-2　冨井大裕　接点の都合
10月14日（火）～12月19日（金）
会場：慶應義塾大学アート・センター

第369回企画展示「資料が奏でる音の世界～遠山音楽文庫40年記念～」
10月27日（月）～12月20日（土）
会場：慶應義塾図書館（三田メディアセンター）1階展示室

KeMCo Voiceでは皆様のご意見・ご感想を募集しております

KeMCo Voiceやミュージアム・コモンズへご意見・ご感想がございましたら、以下のアドレスまでお寄せいただければ幸いです。
いただきましたご意見は匿名でご紹介させていただく場合がございます。紹介をご希望でない場合はその旨をお書き添え下さい。

> ご意見・ご感想はこちら

次回の*KeMCo Voice*は*2025*年*12*月に配信予定です。
過去のニュースメールはこちら

Copyright © 2019-2025 慶應義塾ミュージアム・コモンズ　Keio Museum Commons

〒108-8345　東京都港区三田2-15-45

Tel:　03-5427-2021　Fax:　03-5427-2022
お問い合わせ